

CASBEE[®]-不動産【オフィス】

■使用評価マニュアル：CASBEE-不動産【オフィス】(2021年SDGs対応版) v1.2.1

評価結果

建物概要							
建物名称	おおきに南船場ビル		敷地面積	825	m ²	評価の段階	運用段階評価
建設地	大阪府大阪市		建築面積	574	m ²	評価の実施日	2023年7月31日
用途地域	商業地域、防火地域		延床面積	5795.95	m ²	作成者	福士 明子
建物用途	事務所		階数	地上10F		不動産評価員番号	ふ-001189-27
竣工年月	1994年12月8日		構造	SRC造		確認日	2023年8月4日
直近の大規模改修実施年月	2020年		平均居住人員	240	人	確認者	福士 明子
			年間使用時間	4,745	時間/年	不動産評価員番号	ふ-001189-27

評価結果									
71.5 /100		合計		★★★★★		S ランク:★★★★★		≧	78
(得点 / 満点)						A ランク:★★★★		≧	66
						B+ランク:★★★		≧	60
				★★★★★		B ランク:★★		≧	50
ポイントは小数点第1位までの表示とする									

1. エネルギー／温暖化ガス							
評価	最大加点点	必須項目	指標	(*)は参考値)	評価値		
適合		根拠等	:省エネルギー基準への適合、目標設定、モニタリング、運用管理体制		一次エネルギー(目標値)	1,237	MJ/m ² ・年
1.0	加点点	根拠等	実績値より省エネ基準への適合、年間実績を把握、ベンチマーク比較実施、次年度省エネ目標設定、テナントと共同で省エネに取組み				
21.0	25	1.1 使用・排出原単位(計算値)	根拠等	実績値より	一次エネルギー(計画値)	1,249.7	MJ/m ² ・年
					二次エネルギー(*)	128.0	kWh/m ² ・年
					CO ₂ 排出量(*)	61.1	kg-CO ₂ /m ² ・年
4.0	5	1.2 使用・排出原単位(実績値)	根拠等	エネルギー消費量実績値一覧参照	一次エネルギー(実績値)	1,249.7	MJ/m ² ・年
				二次エネルギー＝一次エネルギー/9.76	二次エネルギー(*)	128.0	kWh/m ² ・年
				CO ₂ 排出量を算出する係数は0.477kg-CO ₂ /kWh(電気)	CO ₂ 排出量(*)	61.1	kg-CO ₂ /m ² ・年
	0	1.3 省エネルギー(仕様評価)	評価しない				
3.0	5	1.4 自然エネルギー	根拠等	導入していない	利用率		%
29.0	35	合計					

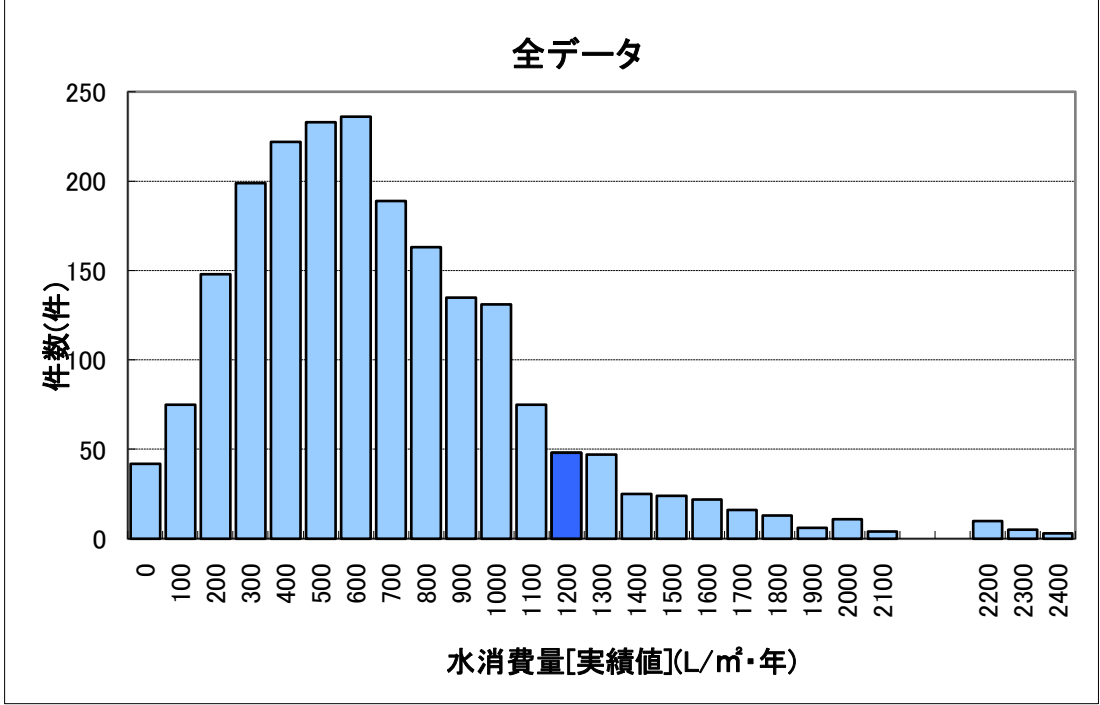
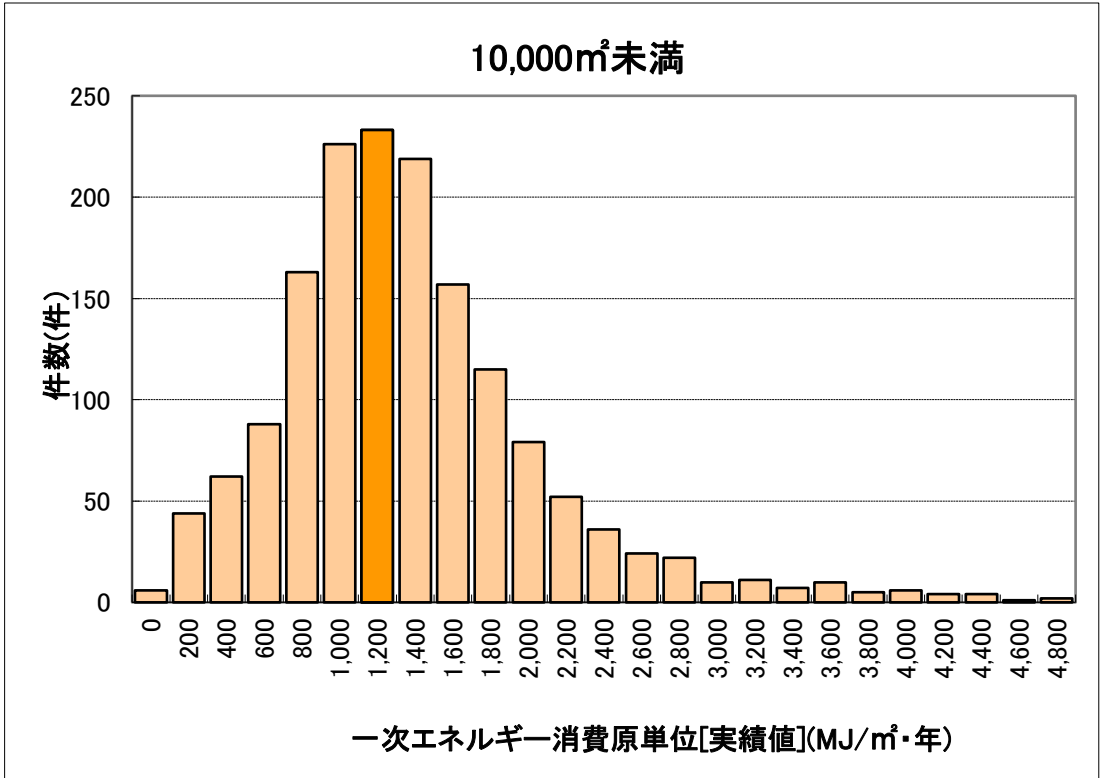
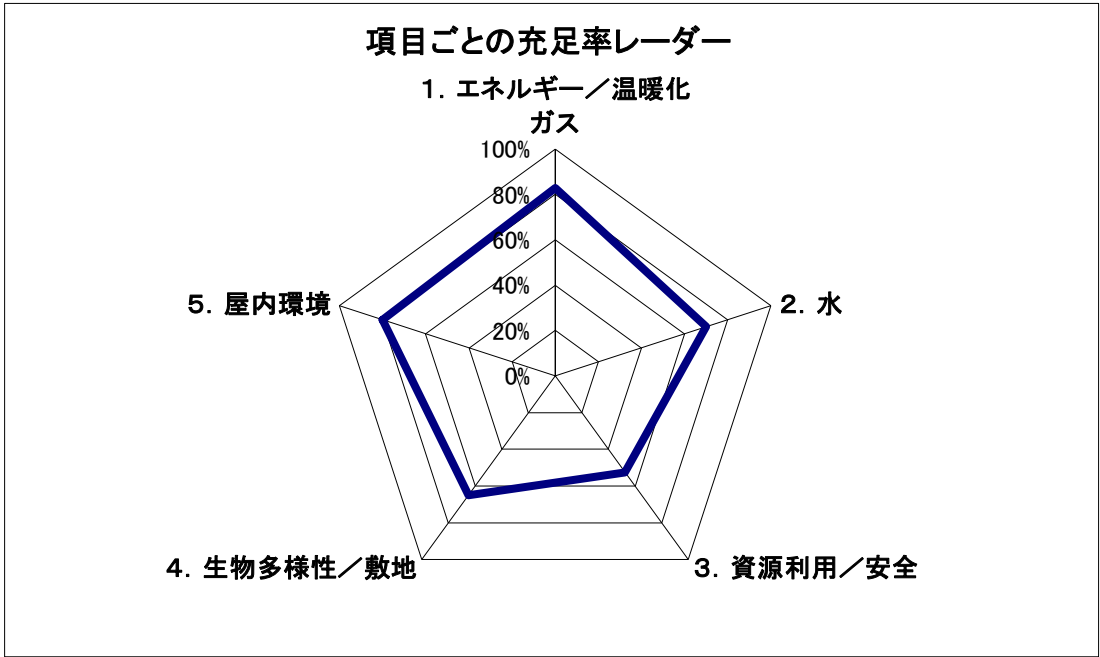
2. 水							
評価	最大加点点	必須項目	指標		評価値		
適合		根拠等	:目標設定、モニタリング、運用管理体制		水使用量(目標値)	1,274.6	L/m ² ・年
5.0	5	2.1 水使用量(計算値)	根拠等	水消費実績を把握、次年度省エネ目標設定			
			根拠等	オフィス水計算ソフト参照	水使用量(計画値)	244.0	L/m ² ・年
	0	2.2 水使用量(仕様評価)	評価しない				
2.0	5	2.3 水使用量(実績値)	根拠等	水使用量実績一覧参照	水使用量(実績値)	1,287.4	L/m ² ・年
7.0	10	合計					

3. 資源利用／安全							
評価	最大加点点	必須項目	指標		評価値		
適合		根拠等	:新耐震基準への適合またはIs値、If値		なし		
3.0	5	3.1 高耐震・免震等	根拠等	新耐震基準に適合			
3.0		3.1.1 耐震性	根拠等	建築基準法に定められた耐震性を有する			
3.0		3.1.2 免震・制震・制振性能	根拠等	導入していない			
2.0	5	3.2 再生材利用率・廃棄物処理負荷抑制	根拠等	①と②の平均で評価する			
3.0		3.2.1 再生材利用率	① 躯体材料	使用していない			
1.0			② 非構造材料	使用していない	リサイクル材品目数(非構造材)		品目
3.0	5	3.2.2 廃棄物処理負荷抑制	評価しない				
3.0		3.3 躯体材料の耐用年数	根拠等	建築基準法に定める対策が講じられている	経過年数＋今後の想定耐用年数		年
2.5	5	3.4 主要設備機器の更新必要間隔／設備の自給率向上／維持管理／バリアフリー	根拠等	3.4.1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の平均			
4.0		3.4.1 主要設備機器の更新必要間隔	根拠等	計算式参照	更新年数の平均値	21	年
1.0		3.4.2 設備(電力等)の自給率向上	根拠等	特になし	自給率向上の取組数	0	項目
1.0		3.4.3 維持管理	根拠等	4)	維持管理に関する取組数	2	ポイント
4.0		3.4.4 バリアフリー対策	根拠等	建築物移動等円滑化基準を満たしている			
10.5	20	合計					

4. 生物多様性／敷地							
評価	最大加点点	必須項目	指標		評価値		
適合		根拠等	:特定外来生物・未判定外来生物・生態系被害防止外来種を使用しない		なし		
6.0	10	4.1 生物多様性の向上	根拠等	特定・未判定外来生物、生態系被害防止外来種を使用していない			
[4.2対象外の時は点数を倍]			根拠等	1)	②取組表による場合のポイント数	1	ポイント
0.0	0	4.2 土壌環境品質・ブラウンフィールド再生	根拠等	土壌汚染対策法に基づく汚染除去等の区域指定にない	なし		
[対策不要は対象外]							
5.0	5	4.3 公共交通機関の接近性					
5.0		4.3.1 公共交通機関の接近性	根拠等	心斎橋駅 徒歩5分	鉄道駅またはバス停からの距離	8	分圏内
		4.3.2 交通結節点への接近性、敷地周辺への配慮	評価しない				
2.0	5	4.4 自然災害リスク対策	根拠等	該当リスク3種	リスクの合計数	3	種類
13.0	20	合計					

5. 屋内環境							
評価	最大加点点	必須項目	指標		評価値		
適合		根拠等	:建築物衛生管理基準の準拠または質問票への適合		なし		
4.0	5	5.1 昼光利用	根拠等	空気環境測定の実施記録有			
4.0		5.1.1 自然採光	5.1.1の点数×2/3＋5.1.2の点数×1/3				
4.0			根拠等	計算式参照	開口率	15.2	%
4.0		5.1.2 昼光利用設備	根拠等	昼光利用設備が1種類ある	昼光利用設備	1	種類
5.0	5	5.2 自然換気性能	根拠等	計算式参照	自然換気有効開口面積	42.5	m ²
3.0	5	5.3 眺望・視環境	根拠等	天井高2.6m、かつすべての執務者が十分な屋外の情報を得られる窓の設置	天井高	2.5	m以上
12.0	15	合計					

おおきに南船場ビル



環境性能の特徴

- ・2020年に共用部の大規模改修工事が実施されており建物の環境性能が向上している。
- ・エネルギー使用計算値・実績値が高得点であり省エネルギー性能が高い。
- ・新耐震基準に適合している。
- ・公共交通機関（鉄道駅）から徒歩5分圏内であり、利便性が高い。
- ・維持管理が適切に行われており、屋内環境も良好である。